

CSR活動 実績・課題

2010年度に実施したグループの主なCSR 活動について、その目標に照らした達成度と今後の課題・目標を整理しました。

達成度評価 ◎成果が大 ○一定の成果有り △更なる成果が必要

ISO26000 中核主題	CSR取り組み分野	主な取り組み項目	2010年度 実績		達成度	今後の課題・目標
				グループ会社		
1.組織統治	1.持続的発展の基盤として					
	コーポレート・ガバナンス	■グループ理念体系の見直しと浸透	・グループ理念の再構築、大成スピリットの新設 ・グループ会社含む社員への理念カードの配布と各所におけるポスターの掲示 ・「グループ行動指針」をコンプライアンス集合研修他の各種研修でテーマに取上げ ・英語版・中国語版グループ理念カードを14カ国、1400名のスタッフに配布		○	・グループ理念のさらなる浸透・定着に向けた活動の継続
	リスクマネジメント	■全社リスクマネジメントの継続的改善	・リスクマネジメント委員会の効果的な運用による全社リスク等の見直しと周知徹底 ・リスクマネジメントHPの改定(規程/マニュアル等を検索し易く改良) ・キャリアビジョン研修にリスクマネジメント研修を組み入れ ・海外工事に係わるリスク管理の強化(本社現業本部と国際支店との連携強化)		○	・平時のリスクマネジメントに関する啓発活動の継続
		■BCPのための大規模災害訓練	・初台寮の耐震化による防災拠点の拡充 ・「動ける体制」の構築に向け、実効性を重視した訓練の実施(初動要員徒歩出社等) ・親会社と連携した大規模災害訓練の実施	成和RW	○	・有事の際の権限委譲体制の見直し等によるBCP訓練の更なる実効性の追及
	ステークホルダーとの対話・情報開示	■IR活動	・投資家向け作業所見学会の実施(4回:北海道、ベトナム、関西、九州) ・債券投資家向けミーティング(11月)・海外投資家向けカンファレンス(12月、1月)の実施		○	・経営状況や経営方針についての理解の促進
■ステークホルダー・ダイアログ		・「大成建設の環境保全取り組み」の評価・要望・期待をテーマにダイアログを開催		△	・株主・投資家以外のステークホルダーとの対話の充実	
2.人権 3.労働慣行	2.誰もが自分らしく活躍できる職場づくり					
	人権の尊重	■人権啓発活動	・全社的な階層別・部門別教育体系に人権研修を組み込み ・人権ハンドブックとして「人権のしおり」を毎年発行し、研修の補完資料として活用 ・12月の人権週間にちなみ「人権標語・人権エッセー」を全社的に募集 ・親会社から派遣された講師による人権研修の実施	大成ロテック	○	・実効性のある人権啓発活動の継続
		■人権遵守のモニタリングと対応	・人事相談窓口を利用しやすいように改定			
	多様な人材が働ける環境づくり	■女性社員の活躍推進	・外務営業女性社員の活躍支援(化粧品分野向け女性チームの組成等) ・技術センター女性研究員の積極的な登用等 ・職域拡大に向けた女性社員への意識啓発研修の実施 ・女性活躍推進に向けた育児・介護休業規程の改定と制度拡充の周知等	有楽土地	○	・属性や働き方など多様性尊重の重要性に関する意識啓発活動の推進
		■中高齢者の雇用 ■障害者の雇用	・再雇用社員の非常勤コース、短時間勤務コースの設定・運用 ・障害者とのコミュニケーション活性化研修の企画・立案			
ワーク・ライフ・バランスの推進	■いきいき推進活動 ■時短の推進	・「いきいきファミリーデー(社員家族の会社訪問デー)の開催 ・マネジメント層に対する「タイムマネジメント研修」、e-ラーニングの実施 ・TAISEI QUALITY活動(業務改善WG、生産ツール改革WG)における取り組み	成和RW	○	・性別・世代・部門間を超えたコミュニケーションの活性化 ・総労働時間の短縮に向けた活動の継続	
	■育児・介護と仕事の両立支援	・有給休暇・節目休暇制度の充実と取得の推進 ・父親セミナー・育児ミーティング・介護セミナーの実施				
キャリア形成の支援	■充実した育成体系	・自律型人材の育成に向けた研修の企画・実施 ・48時間設計コンペ(Build Live Tokyo)へ2年連続参加し、優秀賞を獲得		○	・自律型・グローバルな人材の育成に向けた研修等の充実	
	■海外研修制度(グローバル人材の育成)	・新入社員、3~12年次の海外作業所研修の実施				
3.労働慣行	3.安全で衛生的な作業環境に					
	労働安全衛生管理の徹底	■TAISEI OHSMSの継続的な改善(労働安全衛生マネジメントシステム)	・本社支店改善計画による現業本部・安全本部合同の安全活動 ・「特別監査」年2回実施、「事故・災害報告書」での発生分析の充実とHPへの掲載 ・「支店安全委員会議事録」のハトロール結果に基づく支店ハトロール内容の指導	大成サービス	○	・TAISEI OHSMSの継続的な改善・運用による重大な事故・災害の撲滅
		■災害防止に向けた有効なパトロールの実施等	・類似災害防止に向けた災害事例集のイントラでの配信			
		■海外作業所での取り組みの強化	・TAISEI OHSMSの海外作業所への展開(台湾) ・事業展開国の安全関連法規の調査と有資格者の継続雇用 ・安全本部・現業本部連携による海外特定作業所に対する監査・フォロー会議の実施			
	安全衛生環境協会との取り組み	■協会等を通じた専門工事業者の教育支援	・協会会会員向け機関誌「協力」「災害事例集」の発行・配布 ・協会会会員を集めた支店安全大会(協力業者表彰)の開催 ・専門工事業者に対する各種安全教育の実施 ・専門工事業者に対する安全管理実施状況監査の実施	大成ユーレック	○	・協会会活動を通じた専門工事業者の指導強化
4.環境	4.地球環境のために					
	環境経営の推進(大成アジェンダ2010の推進)	■「大成アジェンダ2010」の推進 ・「環境方針」、「生物多様性宣言」 ・低炭素社会の実現に向けた取り組み	・各部門の環境推進実施計画に基づく「大成アジェンダ2010」の推進 ・「環境方針」の改正(4月)、「生物多様性宣言」の制定(9月) ・ゾーン環境制御技術(T-Zone Saver)の環境大臣表彰受賞 ・東京都排出量取引制度における「都内中小クレジット」第1号申請	大成ロテック	○	・大成アジェンダ2010の推進(特に、2010年度目標未達のグリーン調達および環境不具合事案の防止への注力)
		・生物多様性の保全への取り組み ・循環型社会形成に向けた取り組み	・緑地生態計画手法等の展開 ・分解菌を用いたオンサイト技術やシアン汚染対策技術の向上			
	環境法規制等への対応	■環境法令・作業所環境ハトロール	・環境事案の対応の徹底 ・環境トキメントコントロールの推進(TAISEI QUALITY活動;建築) ・海外作業所における環境ハトロール・監査の継続実施(ISO認証の海外作業所への拡大)		△	

ISO26000 中核主題	CSR取り組み分野	主な取り組み項目	2010年度 実績		達成度	今後の課題・目標	
				グループ会社			
5.公正な 事業慣行	5.社会から信頼される企業として コンプライアンスの推進	■コンプライアンス研修の実施	・グループ法務担当者会議の開催による情報共有・連携の強化		○	・全役職員・全グループ企業へのコンプライアンス意識の定着	
			・下請取引に関する法令に準拠した調達の実施				
	・研修テーマの充実(幅広いテーマを教材に取り上げる)						
	・調達行為に関連する法令(下請法、独禁法、グリーン購入法等)をテーマとした研修の実施						
	・コンプライアンス通信を毎月発行し、社員の意識を啓蒙	大成設備					
	■法令等遵守の指導	・下請取引に関する法令遵守状況の作業所点検実施 ・グループ各社に対する建設業法・下請法遵守状況ヒアリングの実施					
知的財産権の管理と保護	■知的財産リスクマネジメント	・年間特許出願件数「目標200」に対し219件実施 ・社員向けの「特許支援講座」の開催(11~12月)		○	・グループ全体の知的財産権に関する意識の向上		
情報セキュリティ対策	■情報漏洩防止対策について	・パソコン等の情報管理体制の強化(暗号化・パスワード設定)		◎	・社員(グループ会社含む)に対する情報セキュリティに関する教育の徹底(継続)		
		・外注業務/技術契約における情報セキュリティの強化・充実 ・業界WGIに参画し「建設現場における情報セキュリティガイドライン」を作成 ・情報漏洩対策として暗号化ツール、作業所VPN化の導入	大成設備				
	■情報セキュリティ教育について	・期間雇用従業員を含めた全役職員に対して「eラーニング」を年4回実施(5,8,11,2月) ・情報セキュリティ教育をグループ会社へ展開 ・「情報漏洩」をテーマにした専門工事業者向けコンプライアンス研修の開催 ・個人情報、機密情報漏洩防止に関する「作業所向けセキュリティール」の周知徹底	大成ユーレック				
6.消費者 (顧客) 課題	6.品質は私たちのプライド 品質管理基準・手順の徹底	■品質管理体制と連動した「TAISEI QUALITY活動」	・品質向上部会での不具合情報の水平展開・再発防止他の取り組み ・マスター制度や本部員コーチングによるOJTの継続実施 ・若手職員研修における品質トラブル事例解説/技術者倫理教育の実施		○	・品質管理のために守るべき基準・手順の周知と徹底 ・社員のスキルアップ・技術の伝承の推進	
			■品質管理体制・技術の改善	・高性能コンクリートの品質管理技術の改善 ・防耐火建材認定工法不具合への対応強化(認定品の仕様/工法の確認他) ・新規取引業者の工事経歴書等による品質・技術の確認(事前・施工中) ・橋梁等の過密配筋構造物の品質向上に向けた小径パイプレーザーの開発・全国展開			
	顧客への的確な技術・計画等の提案	■先進コンクリート技術	・200N超高強度コンクリートのPC化の適用		○	・顧客の社会的課題の解決に向けた新たな技術の開発・提供	
			■安全・安心関連技術	・製品の安全・安心に向けたライフサイエンス等・エンジニアリング分野における提案の充実 ・放射線遮蔽施設の合理化技術の開発・適用 ・直下型地震対応防災システムの開発・適用 ・超高層建物解体工法(テコレップ工法)の適用			
		■土木関連技術	・超高強度繊維補強コンクリート(UFC:ダクタル)の適用(羽田D滑走路) ・シールドマシンの長距離掘進の為に二重ビットの適用(品川線等) ・安全・安心で機能性の高い舗装技術の開発・提供(エクセレントソイル、ヒートリフレッシュ工法等)	大成ロテック			
			■サービスソリューション(調査・計画)	・総合改修提案の実施 ・BIMへの先進的取り組みとしてTアプローチⅡの基本設計からの取り組み			
		■技術情報等の提供	・医薬品分野に関する最新技術情報発信のための医薬技術セミナーを3回開催 ・耐震ネットの発行対象の拡大、コンテンツの充実 ・「TAISEI DESIGN WORKS 2010 大成建設建築作品展」を開催 ・顧客向け環境セミナーの開催(土壌汚染対策法、省エネ法等の法令教育) ・土地オーナーや企業の方々を対象に自社PC工場見学会の開催 ・顧客向け冊子「パルライフ」の発行、工場見学会・建築現場見学会の定期的開催	大成ユーレック ハウジング			
	7.コミュニティー への参画 開発	7.地域と社会のために 社会貢献活動	■地域貢献	・寄付機能付き自販機でNPO法人BCTジャパンの「ホルネオへの恩返し」に協力 ・御殿山プロジェクトにおけるNPOと協働した途上国支援 ・顧客の球団の観戦用シーズンシートを児童福祉施設へ寄贈 ・Table for Two活動(食事代の一部を途上国への支援)の推進 ・地元の身障者自立支援としての食品販売活動の協力 ・ハノイ近郊の孤児院、ハンセン病療養施設への寄付及び慰問 ・中国支社において道路ふれあい月間の道路清掃活動に参加 ・北海道支社における植樹祭への参加の継続 ・「ママサポ」プロジェクトを推進するマンション「グランソフォニア」(戸田公園)での取り組み ・東日本大震災の被災地における各種復興支援活動	大成ロテック 大成ロテック 有楽土地	△	・活動の継続と深化
				○	・持続的な支援活動の展開		
■環境保全		・うるおいの森育樹祭開催(5月) ・フォレストセイバープロジェクトの推進		△	・社員を対象とした社会貢献活動への参加意識の醸成		
		■人材育成	・「企業と生活者懇談会」を技術センターで開催(9月) ・教員の民間企業研修の受入れ		△	・NPOや他の企業との協働による推進	
■社員のボランティア活動			・東京グリーンシップ・アクション等への参加促進		△	・グループ会社社員へのボランティア活動の拡大	